

昭和31年5月15日第三種郵便物認可 毎月1回1日発行
令和3年12月25日印刷 令和4年1月1日発行 第67巻第1号 通巻第784号

不二

小学初級版 幼・1・2・3年生用



第71回全日本学生書道展成績発表
お正月・元旦写経案内

公益財団法人 日本書道教育学会

1/2022

不二
小学初級版

2022

1月号

公益財団法人

日本書道教育学会

迎春

渡部	渡邊	若林	米田	四井	芳村	吉田	吉田	吉田	吉田	横田	横田	讓原	由井	山本	山本	山田	山田	山下	山下	山崎	山崎	山際	山際	八尋
聖峰	蕭葉	清葉	清翠	汀花	清苑	清芳	萩峰	桂峰	荳粒	淀水	曾水	澄香	華苑	孝枝	蕉鳳	修一	裕子	麗泉	明鳳	莊加	貴子	槐舟	彩華	光華

役員一同
(十一月十五日現在)
役職別
五十音順

公益財団法人 日本書道教育学会 主催

第71回 全日本学生書道展

学会大賞

二年生 奈良 穂積 悠人



幼年・一年生 奈良 田中 咲実



三年生 彩 伊藤 琥太郎



他の特別賞作品、成績は46ページより掲載しています。

「年の始め」

本会理事 滝沢 具幸

新しい年の始め、元旦は朝早く起きて「初日の出」を見たいですね。東の空から輝いて昇る初日は神々しく見えます。新年は何もかも新しく、空も澄み清々しい気持ちになります。「あらたまの年のはじめ」といって、古くから新年の気持を表わす言葉があります。「あらたま」は大地から掘り出したばかりのまだ磨いてない玉のことです。

昨年はコロナの感染で大変な年でしたが、今年は正にあらたまの新しい年に立ちかえり晴々とした良い年でありたいものです。

初詣には多くの人が神社やお寺にお参りに行きます。はじめて物事を始めることを初仕事と言います。

さて、皆さんは元旦から始める初日記には何を書きますか。今年はどうような年でありたいか期待しながら書き出すことでしょうか。

皆さんに私は「絵のある日記」をお勧めします。色鉛筆などで文のそばに時々絵を入れてみると、色どりが加わって一年が大変楽しくなると思います。

(武蔵野美術大学名誉教授／一般社団法人日本美術家連盟理事)

目次

◆ 謹賀新年	表 2
◆ 全日本学生書道展受賞作品	1
◆ 巻頭言／目次	2
◆ 今月の課題	3
半紙 幼年・一年生	4
半紙 二年生	5
半紙 三年生	6
硬筆 幼・一年生	7
硬筆 二・三年生	8
条幅 幼・一・二年生	9
条幅 三年生	10
◆ 手本のならいかた	18
◆ 最優秀作品	20
◆ 優秀作品	29
◆ みんなのこえ	30
◆ 十一月例競書成績表	46
◆ 全日本学生書道展成績発表	52
◆ かんじのひょうげん	60
◆ 書初不二誌上展出品要項	62
◆ お正月・元旦写経	64
◆ 編入試験受験案内	65
◆ 競書出品のしかた	66
◆ 硬筆用紙 幼・二年生	69
◆ 硬筆用紙 三年生／ヨコちゃん	70
◆ 出品券／課題予告／あとがき	71
◆ 不二誌案内	72
表紙画 滝沢具幸「野のうた」	73
表紙デザイン 石橋 應和	74

しめきり厳守 【今月の出品期間 1月4日(火)～1月11日(火)】

● 2月号(12月27日～12月29日発送) 発表の段級を1月出品の作品に書いて出品してください。

段級検索 I Dのご案内は 30 ページをご覧ください。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

つ
る

（手本のならいかたは10ページ）

きょうしつ だん なまえ きゅう

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

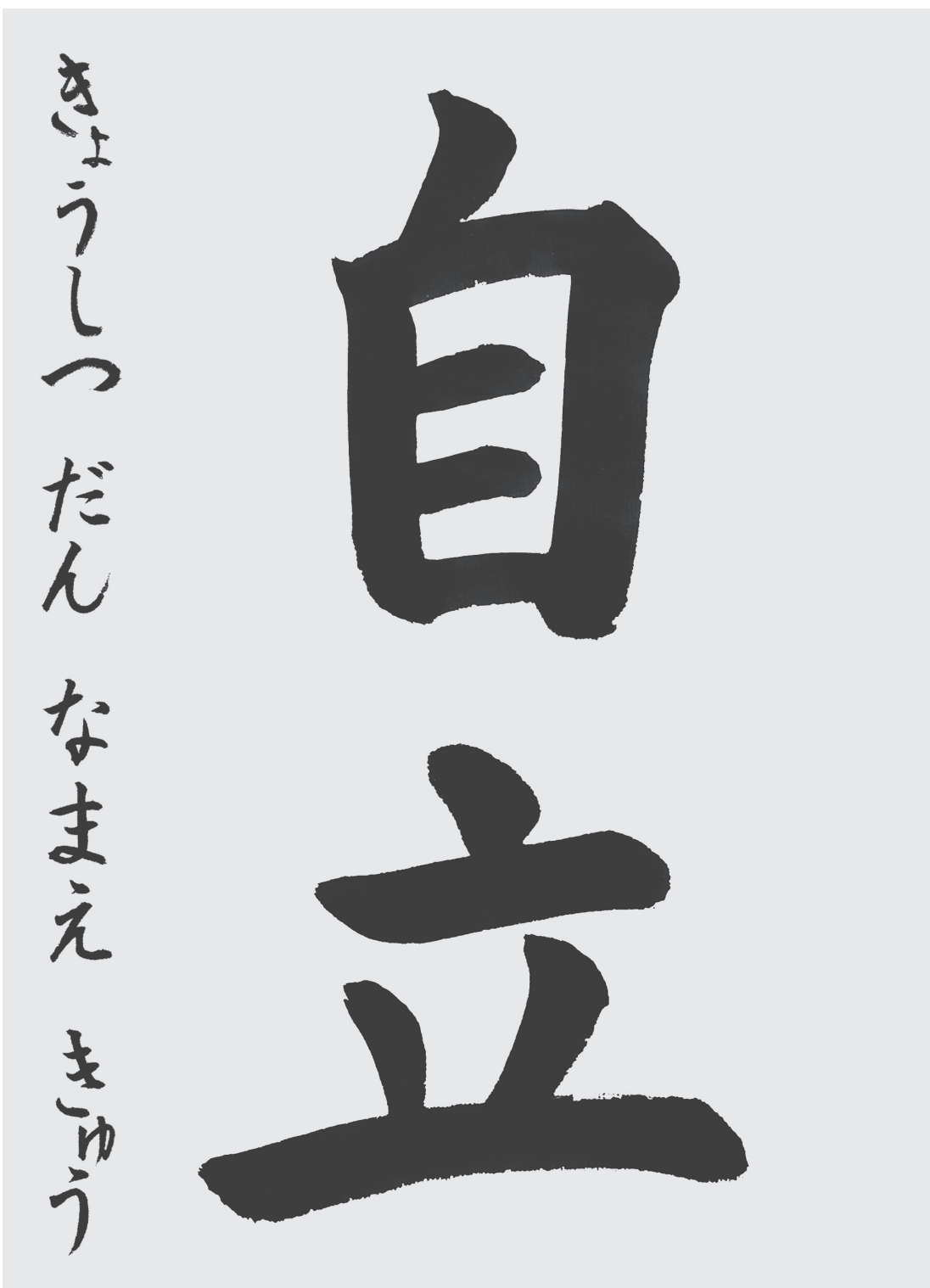
☆出品券をはる

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、「幼
年・一年」と学年を出品券横に明記してください。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。
☆なまえもさくひんのいちぶです。
ていねいにかきましょう。

自
立

（手本のならいかたは10ページ）



☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字 (初・二・七) で記入

☆級は黒の算用数字 (1・2・10) で記入

出品券をはる

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、
「二年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。
☆なまえもさくひんのいちぶです。
ていねいにかきましょう。

福
わ
ら
い

（手本のならいかたは11ページ）

教室

段

名

前

級

福
わ
ら
い

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

☆出品券をはる

☆はじめて出品するときは、この中の一字だけを書いても出せます。一字だけを出品する場合は、「三年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

〔硬筆幼年〕

（手本のならいかたは12ページ）

も	ち
た	こ
あ	げ
き	

もちつき たこあげ

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

〔硬筆一年生〕

（手本のならいかたは13ページ）

は	つ
お	ま
い	り
日	の
出	

はつ日の出 おまいり

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

☆名前は、かける人は漢字でかきましよう。課題と同じようにていねいにかきましよう。
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

〔硬筆二年生〕

（手本のならいかたは14ページ）

新	元
年	気
お	に
め	あ
で	い
と	さ
う	っ

新年おめでとう

元気にあいさつ

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

〔硬筆三年生〕

（手本のならいかたは15ページ）

神	引
社	き
で	ま
お	し
み	た
く	
じ	
を	

神社でおみくじを引きました

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

じょう ふく
〔条幅 2 年生〕 こ 久 保 嶺 石 先生 書

じょう ふくよう
〔条幅 幼・1 年生〕 こ 久 保 嶺 石 先生 書

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)

羽

名

つ

前

き

羽
はね
教室名
つき

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)

か

な

ぞ

ま

え

く

か
ぞ
く

★条幅の大きさはたて 68 cm × よこ 23 cm (全紙 6 分の 1) です。

しゅっぴんけん
出品券をはる

しゅっぴんけん
出品券をはる

【お願い】 条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段(赤の漢数字)、名前、級(黒の算用数字)」を書いてください。

がくしゅう

学習のポイント

章法（構成）

名前（なまえ）はしあげです。全体（ぜんたい）を見て入れましょう。

反省と鑑賞

書き（か）き終わ（お）ったら、少し（すこ）しはなれて、字（じ）の大きさ（おお）や線（せん）の太さ（ふと）がよいか見（み）ましょう。

筆使い

条幅（じょうふく）作品（さく）では、筆（ふで）使い（つか）を工夫（くふう）して書き（か）きましょう。筆（ふで）の鋒（ほう）の弾力（だんりき）（バネ）を使（つか）って、のび（のび）のびと。

教室名

段（赤の漢数字）

名前

級（黒の算用数字）

じょう ふく
〔条幅 3 年生〕

こ 久 ぼ れい せき
小 久 保 嶺 石 先生 書

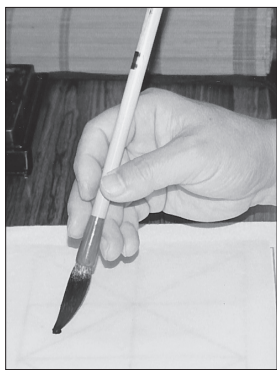
風 あ げ

★段は赤の漢数字（初・二…七）、級は黒の算用数字（1・2…10）で記入。

風
名前
あ
前
げ

しゅつぴんけん
出品券をはる

（手本のならいかたは16ページ）



◆双鉤法
ふでのもちかた

人さしゆび、中ゆびの2本をふでの
じくにかけてもつもちかた。

紙面（しめん）から手首（てくび）を離（はな）して、筆管（ひつかん）は第二関節（だいににかせつ）に副（たす）えます。手首（てくび）を柔らかく（なめ）くして、指（ゆび）には力（ちから）を入（い）れず（す）に軽く（かろ）く持（も）ちます。脇（わき）を開（ひら）いた分（ぶん）だけ腕（うで）を上げ（あ）、手首（てくび）と指（ゆび）を少し（すこ）し内（うち）側に（がわ）にまわした型（がた）で筆（ふで）を持（も）ちます。

これは運筆（うんぴつ）のときの筆（ふで）と手指（てゆび）、腕（うで）の状態（じょうたい）を示（し）めている
ではありません。ご注意（ごちゅうい）を！

てほん 手本のならいかた / はん 紙

こくぼれいせき 小久保嶺石先生書

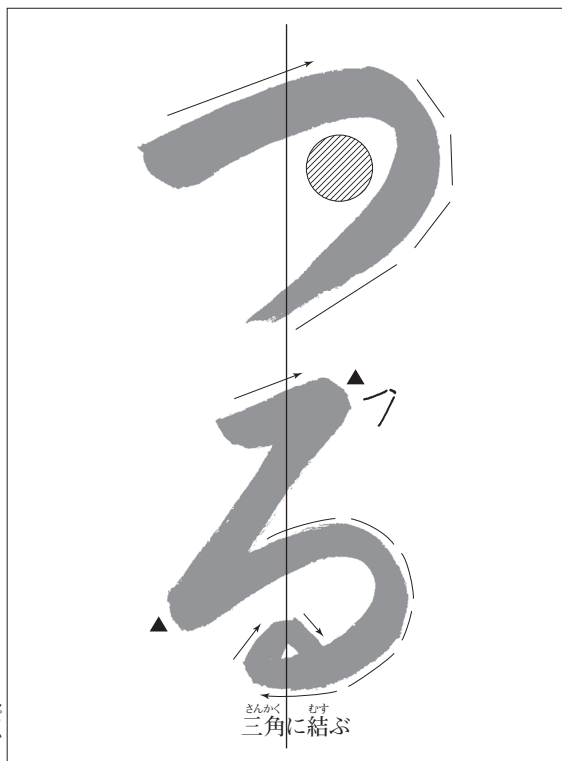
ここにちゅうい 幼・1年

★姿勢の確認。(上の字を書く時は半紙を手前にひく)
★筆使いを学ぶ。
★中心をしっかりと通す。

学習のポイント
つ：軽く入り、少し右上がりに筆を運ぶ。まがり骨力のある線(骨が入っているような線)を心がける。
る：転折(折れ)では腕を上げて筆の鋒先の向きを変える。さいごの結びは三角形をイメージするとよい。

▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意



こくぼれいせき 小久保嶺石先生書

ここにちゅうい 2年

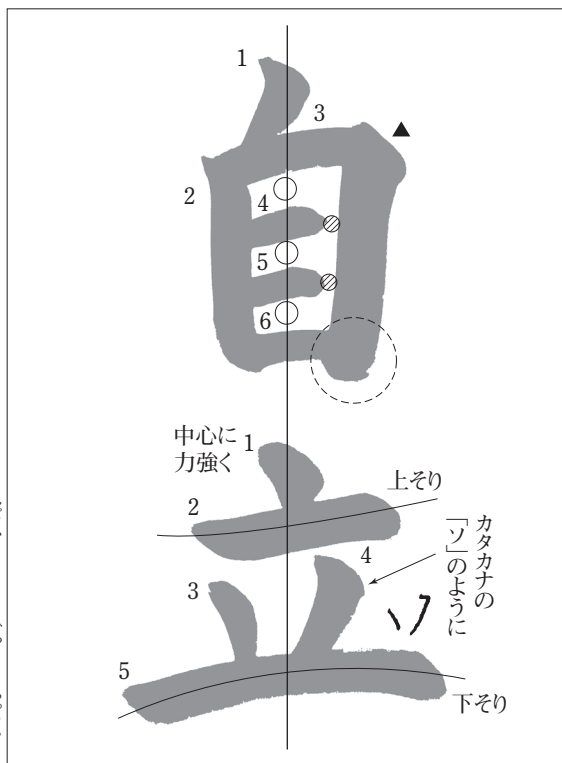
★半紙二字書き課題。
★中心をしっかりと通す。

学習のポイント
自：横画の間かくに注意する。横画は細め、たて画はやや太めの線で運筆するとよい。
立：一画めで中心をとり、力強く入る。三・四画めはカタカナの「ソ」のように書く。二・五画めのそりにも気をつける。

▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意

○広さに注目

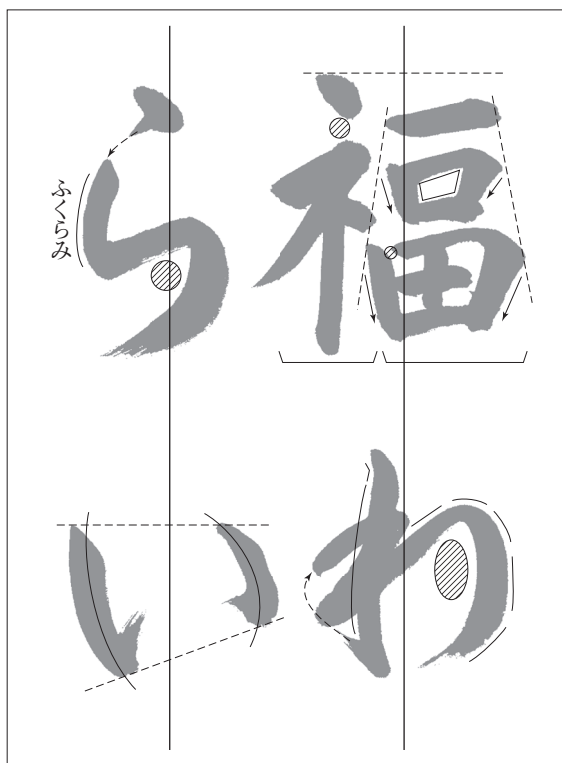


てほん 手本のならいかた / はん 紙

こく ぼれい せき
小久保嶺石先生書

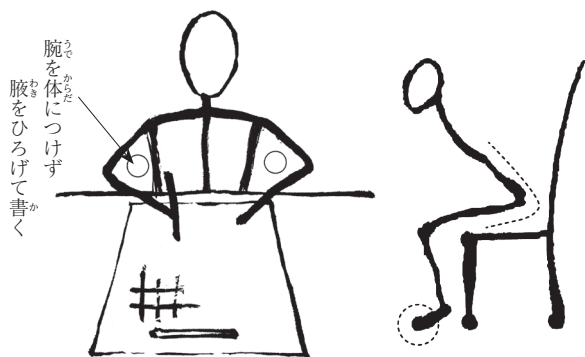
ここに
ちゅうい 3年

- ねらい
★筆への墨の含ませ方を学ぶ。
★漢字とかなの調和。
- 学習のポイント
福：「ネ」（示偏）と旁のバランスに気をつける。「畠」の「口」「田」は少し下をすばめて字形をひきしめる。
わ：二画めの大きな曲がりは骨力をつけて（線に骨があるように）表現する。
ら：一画めから二画めへと気持ちが続けて書く。
い：一・二画めがたがいに向かいあうように。

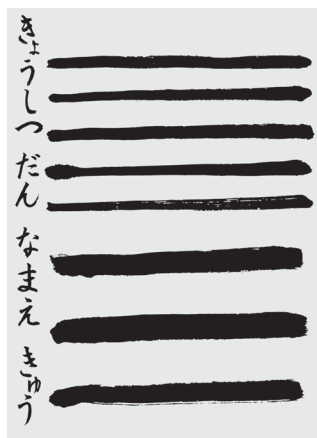


◎あきに注意

【正しい姿勢】



- 両腕をはって体で書く
(下腹に力を入れて体を前後左右に動かせるように)
- 机との間にゲンコツ1つ、背もたれとの間にゲンコツ2つから3つ
- 両足は少し開いてつま先を床につける。
- おしりを突き出すように座る。



- 課題を書く前の準備運動に「横棒」を書いてみましょう。
- 書道を始めたばかりの方は「横棒」を書いての出品も可とします。
- 出品券横に必ず学年を明記して下さい。

依田蘭香先生書

年生

▲とめてほうこうをかえる

●あきに注意 ちゅうい

※中心ちゅうしんの線せんは下したじきに入いれて書かきましよう。

依田蘭香先生書

▲とめてほうこうをかえる

○同じひろさ

◎あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。
※一字の書きはじめの部分を示しています。

あらや ゆみこ
荒谷由美子先生書

	一	
	ノ	
	し	
	一	
	し	
	一	
	つ	

	一	
	ノ	
	一	
	し	
	て	
	し	
	う	

※上をそろえた書式で書いています。
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

▲とめてほうこうをかえる
◎あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。
※一字の書きははじめの部分を示しています。

荒谷由美子先生書

引
ま
ま
し
た

フ
ー
ー
ー
ー

神
社
で
お
み
く
じ
を

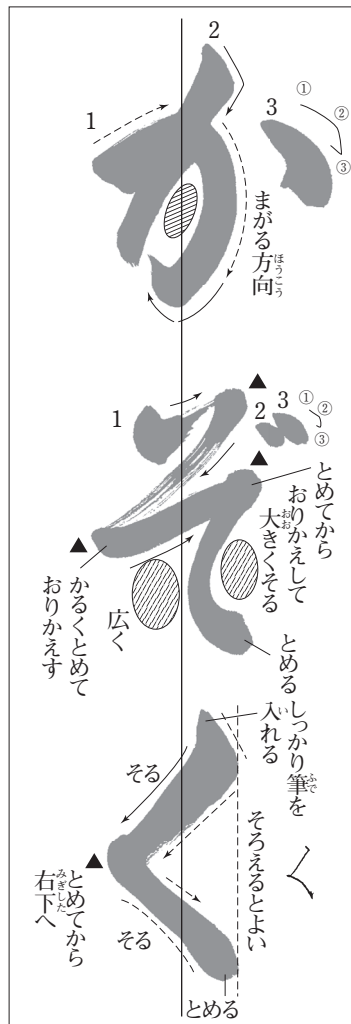
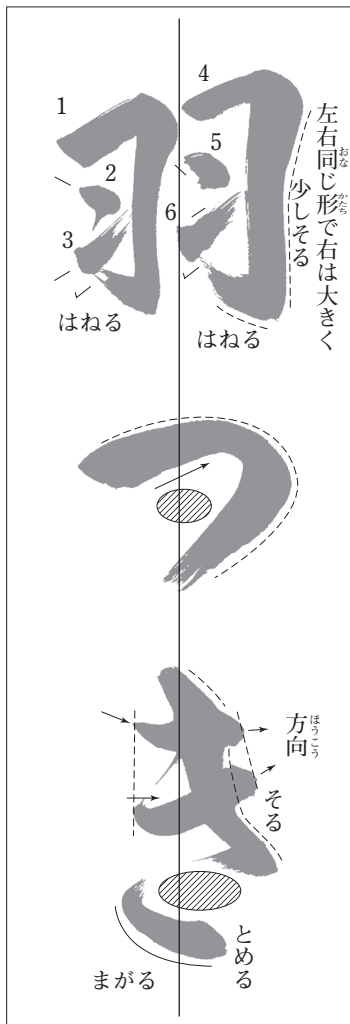
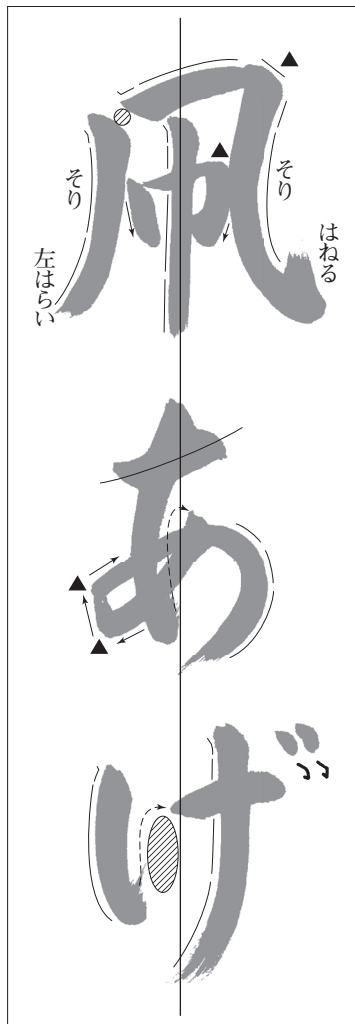
、
、
ー
フ
、
、
ー

てほん 手本のならいかた／条幅

こくほ 久保 嶺石 先生書

こくほ 久保 嶺石 先生書

こくほ 久保 嶺石 先生書



【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、氏名、級（黒の算用数字）」を書いてください。

ここに 3 年生

ここに 2 年生

ここに 幼・1 年生

ねらい
★漢字とかなの調和。
風：「凡」（風がまえ）を張りのある線でゆつたりと書き、中に「巾」をおさめる。風がまえの書き方で筆使いを身につけたい。
あ：一画めのそり、三画めの曲がり、方向に注意する。
げ：一画めは少し外へふくらみを持たせ、三画めは、のびやかにひきはらう。四五画めの点もボンボンと打たずに心をこめて運筆するように。

ねらい
★漢字とかなの調和。
★まがり、点の筆使いの練習。
羽：へんとつくりが「习」と同じ字形なので、大きさに注意してまとめる。（右を少し大きく。）
つ：左はらいをていねいに。少し太めに書く。
き：一二画めの方向、長さのちがいに注意する。三画めは大きくのびやかにそる。四画めはまがりをつけ、最後はとめる。

ねらい
★点の筆使い、筆の返し練習。
★三字の調和。
か：一かくめはしっかり筆を入れてから大きくまげる。二かくめはななめ左へ力強く。三かくめの点は①②③のリズムで書く。
ぞ：▲印の筆の返しを学ぶ。横画は右上がりにして、折り返し大きくそり、濁点は①②③のリズムで。
く：線のそりに注意。最後はとめる。

月刊書道誌 不二

いつでも、どこでも、だれでも！ 年齢、習熟度に応じて学べます。

「不二」は、伝統に立脚し、流派を超えた書道教育の振興をめざす日本書道教育学会が1950年から毎月発行し続け、創刊71年を迎えた書道学習誌です。また「不二」は全国約2000の書道塾及び20ヶ国を超える海外不二教室でも用いられています。

不二誌の 仲間

子供から成人まで各段階ごとに編集されており、体系的な学習が可能です。
ご家族そろって不二誌での学習をはじめてみませんか。



一般版

純正書道修練の競書誌。手本ごとに丁寧な筆法解説が添えられ、学習にも指導にも最適。出典・作者・内容に触れ、書法と同時に書史を学べます。書論・書道史の読み物も充実。



中高版

教育書道の競書誌。楽しく読みながら、書の実技・鑑賞・理論が学べます。手本は丁寧な筆法解説に加え、出典・作者・内容も紹介。



小学上級版

教育書道の競書誌。筆順から筆づかい、文字の組合せ方まで丁寧に解説。星座のお話などの読み物もあり、自然に書に親しめます。



小学初級版

教育書道の競書誌。筆順から筆づかい、文字の組合せ方まで丁寧に解説。文字のなりたちや日本の言葉を知る楽しいページも掲載。



ぺんの力

硬筆専門誌。毛筆をもととした硬筆を学び、実用に活かす。写経・つけペン・筆ペン・ボールペン等多様な課題が学べます。

会誌名	対象	単価
不二一般版	大学生・一般	800円
不二中高版	中学生・高校生	600円
不二小学上級版	小学4、5、6年生	550円
不二小学初級版	小学1、2、3年生	550円
ぺんの力	大学生・一般	700円

(送料・消費税込み)

『不二』誌 一月号の目次から

—「不二」誌各版の記事をご紹介します—

【一般版】

・巻頭言……………長瀬 弘

【中高版】

・巻頭言……………永井 香樹

・日常の文字を書こう！

【上級版】

・巻頭言……………中村 城翠

・星座と神話の世界「オリオン座」

【初級版】

・巻頭言……………滝沢 具幸

・かんじのひょうげん「虎」

【ぺんの力】

・巻頭言……………寺田 勝彦

・美しいペン字を学ぶ・鷹見芝香書

「楷書・かなの基本⑨」

見本誌
無料贈呈

請求先
お問い合わせ先

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3 電話 03(3234)3918
「公益財団法人 日本書道教育学会 会誌係」 FAX 03(3234)3548

東京都美術館にて書道学会展と同時開催

第71回 全日本学生書道展

会 期 令和4年1月4日(火)～1月10日(月)

◇会 場：東京都美術館 2階第2・3展示室（東京都台東区上野公園 8-36）

◇時 間：午前9時30分～午後5時30分（入場は午後5時まで）

※最終日は午後2時まで（入場は午後1時30分まで）

◇主 催：公益財団法人 日本書道教育学会

◇後 援：文化庁・中国大使館・東京都教育委員会・読売新聞社・
日本テレビ放送網株式会社

入場
無料

※授賞式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別賞受賞者のみで執り行います。

作品募集

出品期間：令和4年1月17日[月]—21日[金] 必着

公募
第35回

不二現代書展

漢字かな交じり書・
漢字造型の新しい展開

会 期 令和4年3月16日[水]—21日[月]

会 場 大阪市立美術館 地下展覧会室
(大阪市天王寺区茶臼山町 1-82)

時 間 午前9時30分～午後5時

出品料 13,000円(税込)

(入館は午後4時30分まで)

※ただし部門を跨いで出品の場合は2点目以降1点につき7,000円とする。

褒 賞 文部科学大臣賞・大阪府知事賞・大阪市長賞・大阪市教育委員会委員長賞 他

【主催】公益財団法人 日本書道教育学会 【後援】文化庁・大阪府・大阪市・大阪市教育委員会

～日本の伝統文化「書初」にご家族・団体でご出品を！～

令和4年 書初不二誌上展

作品
募集

出品期間：令和4年1月12日(水)～1月18日(火) 必着

表 彰

特選に選ばれた作品は

不二・べんの力各誌三月号に写真版として掲載されます。

特選・金賞・銀賞・銅賞

特選・金賞には賞状及び賞品を、銀賞・銅賞には賞状を贈呈します。

*出品要項は本誌54～57ページをご覧ください。

＜送り先
問合せ先＞

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3
公益財団法人日本書道教育学会 展覧会係

電話 03(3234)3956
FAX 03(3234)3548

ふじぎようしつ	ねん
だんぎゅう	くみ
はんし	なまえ
こうひつ	
じようふく	